



編集・発行 / 大阪市東淀川区社会福祉協議会 広報部 TEL.6370-1630 FAX.6370-7330
〒533-0022 大阪市東淀川区菅原4-4-37 (区社協ホームページ) <https://hohoemi-kushakyo.or.jp/>

ほほえみ 社協

検索



東淀川区生活支援コーディネーター通信 VOL.6

みなさんの「こんなことやってみたい」「こんなことができるよ」を応援します!

ボランティアさん、
ありがとうございます!



力仕事は
任せてや〜

ならお手のもの。
子どもたちを
優しく見守る縁
の下の力持ち、頼
りになります!

子どもたちが喜ぶ姿をやりがいに、普段の水やりや植木の世話を担当されているボランティアは、全員が男性です。子どもたちと一緒に野菜や花を育てています。

その2 みんなの花壇

男性の活躍の場、 増えてます!

おもしろいでしょ〜



その3 鉄道模型の会

趣味の鉄道模型(Nゲージ)を活用し男性が外出して交流する機会をつくりたいと、井高野在住の大島昭さんの発案で「鉄道模型の会」がほほえみサロンで始まりました。初回の1月17日は、男性だけではなく、多くの女性も参加されました。

阪急電車など馴染み深い電車もあり、模型の運転体験もできて、「鉄道模型を運転するのは子どもの頃から難しかった」「駅にびったり停車するのは手さんの様子を見ておこう」と、みなさん、すっかり運転手になった気分でした。毎月、第3金曜日の午後1時から開催予定です(都合により、開催しない場合があります)。



「おやじカフェ」のマスターたち

その1 おやじカフェ

10月19日、「ぶらっと豊新(豊新会館)」で開催された「コーヒーの淹れ方講座」を受講した地域の男性を中心に、11月23日から同会館で、豊新地域主催の「おやじカフェ」をオープンしました。

メニューは、本格的に淹れたコーヒー(お菓子付きのみ)というこだわり。初回は行列ができる盛況ぶりです。2時間で50名を超えるお客様が来られました。おやじカフェのマスターたちは、慣れない手つきでコーヒーを淹れたり、洗いや接客に奮闘したり。閉店後は「忙しかった」と言いながら、素敵な笑顔でニコニコ。達成感味わった様子でした。おやじカフェのマスターたちによる美味しいコーヒーをぜひ味わいにお越しください! また、同時開催された「しめ縄教室」も大いに賑わいました。

美味しいコーヒー淹れたるでエ〜



「おやじカフェ」 毎月第4土曜日 午後2時〜4時 / 豊新会館

男性高齢者の閉じこもり予防を目的に、『コーヒー講座』や『おやじカフェ』を地域で開催されたい方は、生活支援コーディネーターまでご相談ください。

大学と地域がコラボした「居場所づくり」がスタート!

相川にある大阪成蹊短期大学栄養学科の学生が、勉強の一環として調理した昼食を学内で販売しています。昨年5月から、週一回、相川地域の高齢者が大学へ昼食を食べに行くという活動が始まりました。地域の会館では「高齢者食事サービス」を実施していますが、自宅から遠いために参加しづらかった方など、閉じこもりがちの方が外出する機会となっています。学生にとっても、高齢者の食を考えるよい機会です。参加者の感想をもとに、お肉を小さめにカットするなど工夫しているとのことです。



食後は学食で歓談!

その4 おもちゃ修理

東淀路にある保育園・グロバルキッズ東淀路園で、小松在住の西村極さんが「おもちゃ修理ボランティア」として活躍しています。区社協で開催した「定年後の第2の人生講座」を受講したことが活動を始めるきっかけとなったそうです。

「子どもたちが安全に遊べるように、丁寧な作業を心がけています」と少し照れながら話してくださいました。子どもたちには、おもちゃを修理する姿が魔法のように見えるのか、作業が始まると、みんな目をキラキラさせてのぞきにぎまみます。



魔法みたいや〜

はい、直ったよ〜

ある日のメニュー

生活支援コーディネーター(SSC)の役割 — 高齢者等の生活支援のために、主に次のような取り組みを推進しています。

- 1 地域資源の把握や関係者間のネットワークづくり
- 2 不足している地域資源やサービスの創出
- 3 活動の場の発掘と担い手の養成
- 4 サービス実施情報などの広報

お問い合わせ…TEL.6370-1630 (担当:生活支援コーディネーター 佐村河内(さむらこうち)) (日曜・祝休日を除く 9:00~17:30)